

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成29年 3月

1 東京都中央卸売市場(平成29年2月)の青果物取扱について

《入荷量》

【市場全体】野菜入荷量が前年比98%、果実が同101%、青果計では同98%と前年を下回った。

(野菜)1月中下旬、2月前半に冬型の気圧配置が強まり、東・西日本とも低温や積雪に見舞われた影響から、キャベツ類が主産地の愛知で小玉傾向となった他、秋冬ネギの品質低下や、ばれいしよ類の北海道産の出荷残量減少、鹿児島での定植遅れ等により、入荷減となった。

(果実)いちご類が年明け後の連続した晴天の影響や、頂果房の着果が少なく草勢が強く維持されたことから、各産地とも2番果の出荷量が多く、出荷時期が長引いた他、みかん類も、不作であった前年を大きく上回り前年並の出荷量であったことから、入荷増となった。

【茨城】野菜入荷量が前年比102%、果実が同110%、青果計では同102%と前年を上回った。

(野菜)1月の低温や2月の積雪の影響があったものの、連続した晴天と気温高によりキャベツ類が生育が良好であった他、レタス類、こまつなといった他の葉茎菜類の生育も前年並まではいかずとも前年並に良好であったことから、入荷増となった。

(果実)主要品目であるいちご類の2番果出荷が2月上旬から本格化し、他産地同様、前年と比べ草勢が強いことから玉肥大も良好であり、前年を上回る出荷量となったことから、入荷増となった。

《金額》

【市場全体】野菜が前年比102%、果実が同112%、青果計では同105%であった。

(野菜)先月に引き続き、前年と比べ作柄不良のにんじん、ねぎ類に加え、キャベツ類の入荷減単価高の展開であった他、はくさいについても秋冬の切り上がりが前年より早まるとの見方が強く、単価高で推移、ばれいしよ類も春作が出回るまでの品薄感から、北海道産を中心に単価高となり、金額増となった。

(果実)主要品目であるみかん類が、1、2月の寒波による需要増から前年と比べ単価高であった他、いちご類が、入荷増加による単価安となったものの、2月は極端な下げ基調とならず保ち合い状態が続いたことから、金額増となった。

【茨城】野菜は前年比110%、果実は前年比111%、青果計では同110%であった。

(野菜)はくさい、ねぎ類が市場全体と同様単価高で推移した他、れんこんの品薄による単価高、入荷が潤沢であったこまつな、ほうれんそうの単価も堅調に推移したため、金額増となった。

(果実)市場全体と同様に、いちご類単価が下げ基調となったものの、前年と比べ下げ幅が緩やかであったことから、入荷量が増加した分、金額増となった。

《数量・金額シェア》

茨城県の2月計の青果物入荷量は前年比103%(シェア11.2%)、取扱金額は同113%(シェア8.8%)となった。

2月	市場計 ※2			茨城			千葉			
	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	野菜+果物	野菜	果物	
数量	H29	154,326	117,442	36,884	16,208	15,669	539	20,337	20,239	98
	H28	154,086	120,492	33,594	17,023	16,576	446	22,517	22,440	77
	(前年比)	(100)	(97)	(110)	(95)	(95)	(121)	(90)	(90)	(128)
	平年値※1	156,730	120,349	36,381	15,888	15,399	489	20,096	20,022	74
	(前年比)	(98)	(98)	(101)	(102)	(102)	(110)	(101)	(101)	(132)
金額	H29	46,236	30,086	16,150	4,028	3,420	608	4,299	4,181	118
	H28	46,847	31,351	15,496	4,289	3,722	567	4,183	4,078	104
	(前年比)	(99)	(96)	(104)	(94)	(92)	(107)	(103)	(103)	(113)
	平年値※1	44,225	29,411	14,412	3,653	3,107	546	4,013	3,917	96
	(前年比)	(105)	(102)	(112)	(110)	(110)	(111)	(107)	(107)	(123)

(単位：t, 百万円, %)

東京都中央卸売市場における青果物取扱数量及び金額(平成29年2月計)

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(2月計)					
	2月	年間計	年間比	2月	年間計	年間比	千葉	北海道	青森			
数量	H29	315,118		35,439	←シェア(11.2%)		13.7%	9.2%	4.4%			
	H28	309,151	1,956,079	15.8	35,654		15.2%	9.5%	4.9%			
	(前年比)	102			99	シェア(11.5%)						
	平年値※1	313,527	2,013,667	15.6	34,492							
	(前年比)	101			103	シェア(11.0%)						
H29	93,219			8,159	←シェア(8.8%)		9.5%				4.1%	5.3%
H28	90,758	586,489	15.5	7,873		9.0%	3.4%				5.8%	
金額	(前年比)	103			104	シェア(8.7%)						
	平年値※1	88,699	467,293	19.0	7,216							
	(前年比)	105			113	シェア(8.1%)						

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成24、25、26、27、28年の5ヵ年平均。
 ※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》
 平成28年実績
 (1～12月計)
 茨城県：金額シェア(10.5%)、数量シェア(11.7%)
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(11.5%)
 北海道：金額シェア(6.4%)、数量シェア(11.2%)
 青森県：金額シェア(6.0%)、数量シェア(6.2%)

2 東京都中央卸売市場(平成29年2月単月)の茨城産青果物主要品目の取扱高

※ 平年比は、平年値に対する本年値の割合を表す。
(平年値は平成24,25,26,27,28年の5ヵ年平均値)

野菜類の入荷量は15,653トン(前年比94%, 平年比102%), 単価は190円/kg(前年比97%, 平年比108%)。

果実類の入荷量は539トン(前年比121%, 平年比110%), 単価は1127円/kg(前年比89%, 平年比100%)。

	品目	数量 t			単価 円/kg			金額 千円				
		前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%	平年比% (全国)	前年比%	平年比%			
野菜	はくさい	7,619	96	96	91	90	158	157	151	686,914	152	152
	れんこん	542	72	72	80	706	122	150	143	382,340	88	111
	ピーマン	367	131	159	119	597	73	79	81	218,975	95	125
	ほうれんそう	469	124	119	109	416	73	83	86	195,301	91	99
	みず菜	595	91	102	95	314	91	79	80	187,008	82	82
	こまつな	530	95	163	115	343	95	91	90	181,521	90	151
	野菜類計	15,669	95	102	97	218	97	108	105	3,420,149	92	110
果実	いちご類	536	121	113	123	1,131	89	98	95	605,532	107	112
	果実類計	539	121	110	101	1,127	89	100	110	607,905	107	111

(野菜)

- ・はくさい 茨城県産はくさいは、秋の曇雨天、11月以降の低温等の影響により小玉傾向、平年の9割作であった中、出荷前進化により先月までの入荷量が多かった反動から前年比96%、他産地である群馬(前年比87%)も本県と同様に小玉傾向により収量が平年を下回り、市場全体では前年比91%であった。秋冬作の切り上がり前年より早いという見方が強まっていることから、単価は高値基調が続き、茨城県産単価は前年比158%、平年比157%、金額は前年比152%、平年比152%であった。
- ・れんこん 茨城県産れんこんは、8月の台風被害の影響による作柄不良から、産地からの出荷残量が先月からさらに少なくなり前年比72%、市場全体では、佐賀(前年比340%)など他産地からの入荷量が多かったため、前年比80%であった。入荷不足から、単価は月末にかけて上げ基調となり、茨城県産は前年比122%、平年比150%、金額は前年比88%、平年比111%であった。
- ・ピーマン 茨城県産ピーマンは、12月、1月の連続した晴天により、加温、無加温作型とも着果量、肥大共に良好で、前年比159%と多く、市場全体でも前年比119%と多かった。入荷量増加により単価は安値基調で推移し、茨城県産は前年比73%、平年比79%、金額は前年比95%、平年比125%であった。
- ・ほうれんそう 茨城県産ほうれんそうは、産地での播種面積増加や、年明けの晴天により日照量が充分確保できたことから、入荷量は前年比119%と多く、市場全体でも前年比109%であった。入荷量が多いことから単価は安く、茨城県産は前年比73%、平年比83%、金額は、前年比91%、平年比99%であった。

(果実)

- ・いちご類 茨城県産いちごは、上旬から二番果の出荷がピークに入ったことから入荷量は増加し、前年比113%と多く、市場全体でも主産地である栃木(前年比117%)や、福岡(同167%)からの入荷量が多く、前年比123%と多かった。入荷量増加により品薄感が解消されたことから、単価は安値基調となり、茨城県産は前年比89%、平年比98%、金額は前年比107%、平年比112%であった。

★詳細は、茨城県農産物販売推進東京本部 ホームページ「市場情報(青果物)」をご覧ください
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/toryuse/data.html>